



Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.27 2002年10月1日発行



表紙の絵は、高知県土佐市立高岡第一小学校5年(平成13年度当時)矢野秀佳さんが描いた作品で、『がんばれ!こどもエコクラブ』第7回全国環境ポスターコンクール(毎日新聞社・毎日小学生新聞・日本環境協会主催)で日本環境協会理事長賞を受賞したものです。

JEA NEWS No.27 目次

エコマーク情報	2	環境カウンセラー情報	6
エコマーク商品の認定基準について	2	藤本倫子環境保全活動助成基金交付決定	6
「エコマークニュース・メール版」の配信スタートについて	2	平成14年度冬期全国星空継続観察のお知らせ	6
エコマークの普及活動	2	こども環境相談室	7
エコマーク認定商品数の推移	3	環境研究会「特別講演会」開催報告	7
世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向	3	地球温暖化対策DVDの制作について	7
世界のエコラベル~GEN会員機関紹介	3	環境研究会入会案内	7
グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向	4	平成15年版環境白書表紙絵コンクール作品募集	8
こどもエコクラブパートナーシッププログラムについて	5	新刊「パワーパフガールズと挑戦しよう!ごみゼロ大作戦ーリ・スタイルで行こう!ー」	8
		「地域で実践できる地球温暖化対策の手引(仮称)」冊子の配布について	8



エコマーク商品の認定基準について

新しい認定基準

●「使用後回収・リサイクルされるスーツケース Version2.0」及び「生ごみ処理機Version1.0」の認定基準が10月20日、新たに制定される予定です。

現行の「生ごみコンポスト化機器」は、コンポスト(堆肥)化する機器を対象にしてきましたが、「生ごみ処理機Version1.0」では電気などのエネルギーを使用して生ごみの乾燥や減量化を図る機器も対象に加え、新たに基準を設けました。

●「印刷インキVersion2.0 (認定基準案)」を公表し、ご意見を10月8日(火)まで受け付けています。新基準の制定は本年12月10日を予定。現行の「オフセット印刷インキ」ではアロマフリー化を推奨してきましたが、この基準制定から5年を経て、約9割がアロマフリー化へ転換し、大気汚染の軽減につながりました。「印刷インキVersion2.0 (認定基準案)」では対象とする印刷インキの種類を広げた上で、新たに基準を設けています。

●類型No.124「ガラス製品Version1.0 (認定基準案)」は本年6月1日付で制定の予定でしたが、基準案の公表後に寄せられた意見を踏まえ、継続して検討するため制定を延期しています。

「難燃剤」、「抗菌剤」および「生分解性プラスチック」に関する要求事項の「エコマーク商品類型認定基準」への記載について

以前より「難燃剤」、「抗菌剤」および「生分解性プラスチック」について各認定基準に共通の規定として「エコマークのてびき」等で紹介してきましたが、本規定の周知と遵守を促すため、「エコマーク商品認定基準」にも明記しました。

現在、「エコマーク商品認定基準」冊子の最新版は「2002年6月発行版」ですが、ホームページアドレスで最新情報を確認できます。

「エコマークニュース・メール版」の配信スタートについて

「エコマークニュース36号」よりメール版の配信をスタートしました。エコマークニュースではJEA NEWSに掲載したエコマークに関する記事の詳細やシンポジウムなど、タイムリーな情報をお届けしていま

す。メール版受信を希望される場合はホームページ(<http://www.jeas.or.jp/ecomark>)から登録をお願いします。

エコマークの普及活動

「発見！あなたの身近にエコマーク」リーフレットNo.6、No.7

エコマーク商品の背景にある環境問題や環境保全上の効果などを情報提供するシリーズリーフレット「発見！あなたの身近にエコマーク」に、No.6「プラスチック

クのリサイクル製品」(5月発行)、No.7「節水機器」(8月発行)が新たに加わりました。ご希望の方はエコマーク事務局までご連絡ください。



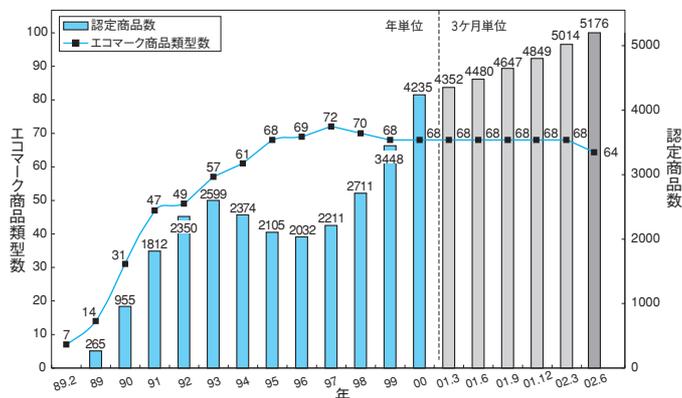
- (既刊)
- 「発見！あなたの身近にエコマーク」シリーズ
 - No.1 「ペットボトルのリサイクル製品」
 - No.2 「文具・事務用品」
 - No.3 「パーソナルコンピュータ」
 - No.4 「古紙のリサイクル製品～トイレトペーパー、ティッシュペーパー～」
 - No.5 「再生材料を使用したタイル・ブロック」

イベント、出展予定

- 11月6日(水)～8日(金)……………滋賀県 びわ湖ビジネスメッセ2002(大学・研究機関ゾーン)
- 12月5日(木)～7日(土)……………東京都 エコプロダクツ2002

エコマーク認定商品数の推移

2002年6月30日現在、エコマーク商品類型数は64、認定商品数は合計5,176商品となり、3ヶ月前に比べ162商品、前年同月比では696商品の増加となっています。



エコマーク商品類型数と認定商品数

増加数の多い類型ベスト5

- 1.No. 27 わら床たたみ
- 2.No.113 包装用の用紙
- 3.No.118 再生材料を使用したプラスチック製品
- 4.No.120 紙製の印刷物
- 5.No.115 廃木材・間伐材・小径材などを使用した木製品



世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向

会員年次総会、及びワークショップを開催

本年10月29日(火)～11月1日(金)、台湾の台北においてGEN年次総会及びワークショップを開催します。ワークショップは「政府のグリーン調達とエコラベル」などをテーマに、GEN会員をはじめとしたエコラベル担当者を対象に行われます。期間中は、エコマークをはじめとした世界のエコラベル商品展示なども予定しています。

GEN総務事務局

TEL : 03-3508-2662

FAX : 03-3508-2656

E-mail : dc3h-mzn@asahi-net.or.jp

ホームページ : <http://www.gen.gr.jp>

世界のエコラベル～GEN会員機関紹介～No.1

現在、GENのエコラベル機関会員は26です。今後、各会員概要を誌面に紹介していきます。まずは本年4月よりエコマークと「複写機」に関する相互認証を開始したノルディックスワンです。

ノルディックスワン(北歐5カ国)



ノルディックスワン(正式名ノルディック環境ラベル)は北歐5カ国(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランド、デンマーク)共通の制度。これら

の国の代表者で構成される北歐エコラベル委員会で商品類型や基準書策定担当国を選定したり、認定基準の決定などを行っています。基準書の策定、商品認定業務などは、各国委員会/機関で行っています。

基準書などの英語による情報は、主にスウェーデンの機関SISのホームページに掲載。
(<http://www.svanen.nu/eng/>)

- 設立年 1989年
- 運営主体 北歐エコラベル委員会 (The Nordic Ecolabelling Board)、及び各国のエコラベル委員会
- 性格 複数国政府による制度(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランド、デンマーク)
- 商品類型数 53 (2001年5月現在)
- 認定商品数 982 (2001年5月現在)

北歐エコラベル委員会中のGEN会員：エコラベリング・デンマーク、スウェーデン標準化協会(SIS)、エコラベリング・ノルウェー

「印刷・情報用紙」、「文具・事務用品」購入ガイドラインの改定

グリーン購入ネットワーク(GPN)では本年8月に「OA用紙・印刷用紙(96年11月制定)」、「文具・事務用品(98年8月制定)」の2つの購入ガイドラインを改定しました。GPNデータベースでは改定したガイドラインに基づき商品情報の更新を行い、ホームページ上に商品情報を提供しています。また、同じ内容を冊子「グリーン購入のためのGPNデータブック」として10月中旬から販売を開始する予定です。販売価格などについては、事務局へお問い合わせください。

GPNデータベース：<http://www.gpndb.jp/>



〈改定のポイント〉

【印刷・情報用紙】

- ① 塩素ガスを使わないパルプの漂白について新たに項目を設けた
- ② パルプの原料が適切に管理された森林から得られたことに関して、事業者が情報提供する項目を新たに設けた
- ③ 対象範囲を感熱紙や感光紙などにも広げ、印刷・情報用紙を全てカバーした

【文具・事務用品】

- ① 対象範囲を大幅に広げ、文具・事務用品の大半をカバーした
- ② 窓付き封筒の窓材に関する項目を新たに設けた
- ③ 素材ごとの分離・分別性について事業者が情報提供する項目を新たに設けた

第5回グリーン購入大賞表彰式開催のお知らせ

グリーン購入の優れた取り組みを表彰する「グリーン購入大賞」はグリーン購入の取り組みを奨励し、事例を社会的に広めることを通してグリーン購入の一層の普及を目的に、98年より毎年実施しているものです。

今回第5回グリーン購入大賞より、「環境大臣賞」に加えて新たに「経済産業大臣賞」を設けます。またグリーン購入を促進する環境コミュニケーション活動も対象とします。購入者の立場に立ったそれぞれの団体のグリーン購入の取り組みに加え、商品やサービスを提供者である企業が、購入側に対して行うグリーン購入促進の環境コミュニケーション(情報提供など)の取り組みも評価します。

【第5回グリーン購入大賞表彰式】

日時：2002年11月13日(水) 13:00~16:50

場所：中央大学 駿河台記念館(お茶の水)

プログラム：

13:00 〈第一部〉表彰状授与式

14:00 〈第二部〉取り組み発表

○大賞4団体(各20分)

○優秀賞6団体(各10分)

主催：グリーン購入ネットワーク(GPN)

後援：環境省、経済産業省、WWFジャパン、日本経済団体連合会、日刊工業新聞社、日本経済新聞社、日本工業新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

表彰式の詳細は事務局へお問い合わせください。

※過去のグリーン購入大賞受賞団体

第4回：神奈川県、セイコーエプソン(株)、油藤商事、中部リサイクル市民の会

第3回：山形日本電気(株)、三重県

第2回：富士ゼロックス(株)

第1回：滋賀県



第4回グリーン購入大賞表彰式



こどもエコクラブ パートナーシッププログラムについて

こどもエコクラブでは、事業の普及と充実を目的に全国の企業・民間団体からさまざまな支援をいただいています。それらの支援を「こどもエコクラブパートナーシッププログラム」と称し、年間を通して広く受付けています。

平成14年度の取りまとめ状況（7月末現在）を下表に示しました。詳細は下記URLのこどもエコクラブのホームページでご覧いただけます。

<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/otona/program.html>

本件に関するお問い合わせ、新規のご支援・ご協力については、(財)日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局までお願いします（TEL：03-3508-2651）。



お店探検の実施①



お店探検の実施②



希望するクラブに各種資料を提供



エコまるのイラスト入り文具の提供（H13年度の例）



【平成14年度 こどもエコクラブパートナーシッププログラム】

全国展開の支援・協力

企業・団体名	プログラム内容	実施期間
イオン1%クラブ	日本とアジア・こどもエコ絵画交流展	H14年8月30日～H15年3月23日
イオン株式会社・九州ジャスコ(株) マックスバリュ西日本(株)・マックスバリュ東北(株)・琉球ジャスコ(株)	イオン「こどもエコクラブ」の会員募集とグループ内サポーター研修会の実施 「イオンエコエコお店探検隊」の実施	通年 H14年6月、10月
株式会社NTT-X	環境gooホームページ内でのこどもエコクラブの活動紹介	通年
キリンビール株式会社 NPO法人こども環境活動支援協会	「かんきょうの詩」作品募集コンテストの実施	H14年7月～9月20日
㈲グリーンクロスジャパン	環境日記「みどりの小道」の提供	通年
コクヨ株式会社	エコまるのイラスト入り文具の提供	通年
㈲サンワみどり基金	植物図鑑「野草の本」、「木のミニ診断カルテとその解説書」の提供	通年
株式会社西武百貨店	こどもエコクラブ事業の広報協力と会員募集	通年
株式会社西友	「エコ・ニコ学習会」の実施 「エコ・ニコ学習会 in スウェーデン」の実施	通年 H14年8月
株式会社損害保険ジャパン	インターネット環境教育教材「地球号の冒険」のCD-ROM提供	通年
東京海上火災保険株式会社	環境ビデオ教材「よみがえれ、マングローブ～海の森づくり」の提供	通年
東京ガス株式会社	環境エネルギー館(横浜)におけるこどもエコクラブの広報・普及啓発	通年
㈲日本環境衛生センター 酸性雨研究センター	酸性雨に関する教材の提供（「酸性雨と環境について考える」 「酸性雨と環境」「環境保全活動のための酸性雨ハンドブック」）	通年
日本生活協同組合連合会	こどもエコクラブ全国フェスティバルへの協力	H15年3月29日・30日
日本テトラパック株式会社	牛乳紙パックリサイクル工作冊子などの子ども向け資料の提供 牛乳紙パックリサイクルコンクール2002の実施	通年 H14年9月1日～10月31日
株式会社農協観光	こどもエコクラブ会員募集の広報協力	通年
株式会社毎日新聞社	小学生・中学生新聞、毎日新聞本紙でのこどもエコクラブ情報の掲載 こどもエコクラブ会員募集の広報	通年 通年
株式会社UFJ銀行	こどもエコクラブ活動の展示会場としての支店ロビーの貸出	通年
株式会社読売新聞社	第12回地球にやさしい作文・活動報告コンテストの実施	H14年6月～9月10日

地域での支援・協力

企業・団体名	事業名等	実施期間
NTT東日本 青森支店	インターネットを活用した「こどもエコクラブの活動」紹介のためのツールの提供	通年
NTT東日本 岩手支店	NTTの設備を利用した環境教育への支援活動 「みんなで作ろう ふるさと桜前線(桜開花調査)」の実施	通年 ～H14年5月
㈲岡山東法人会	第5回「こどもエコクラブ in おかやま」活動発表会の開催	H15年2月
生活協同組合コープこうべ	体験型環境学習プログラム「虹っ子エコチャレンジ」の提供	通年
国際ソロプチミスト岐阜-長良	岐阜市内のこどもエコクラブに対しての活動支援	通年
NPO庄内エコ・プランニング	庄内環境子供サミットの開催	H14年8月～9月
名古屋東急ホテル	ホテルの環境対策見学会「とうきゅうエコ見学会」の開催	H14年4月～12月
株式会社フジ	こどもエコクラブの広報ならびに結成支援	通年

環境カウンセラー情報

平成14年度環境カウンセラー研修会報告

神戸・福岡・東京の会場で8月末～9月上旬にかけて研修会が行われました。

- ◆環境行政の動向について
- ◆NPOからの提言
- ◆環境カウンセラーの事例発表
- ◆科目別研修「環境活動評価プログラム」
「環境学習のあり方」「地球温暖化対策」
- ◆コミュニケーション能力向上講座

登録申請・登録更新

現在、本年9月に申請された方の書面審査を行っています。書面審査の結果は12月末に通知する予定です。また、平成8年度、11年度に登録された方々を対象に登録更新の申請を受け付けています。

● 環境カウンセラーホームページ

<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

活動紹介 No.1

【市民部門 小林聡さん 埼玉県】

(地球環境問題講師体験コースの講師活動)

平成13年4月～14年6月の間、あさか「地球村」主催「講師体験コース」でコース指導をした。参加者は1回30人ほど。そのうち7名程度が地球問題をテーマに講師役となり、20分間話をし、その後意見を出し合う。これを繰り返して、講師になるための経験を積む。最終的な目的は、各自が自立して講演活動が出来るようになること。このコース修了者から実際に講演活動を始めた人が生まれた。



「みんなで地球環境問題の講演ができるようになる」と現在も国内10箇所と同様の活動は行われている。

※次号に掲載する活動事例を環境カウンセラーの方々より募集します。詳細は虎ノ門本部担当までご連絡ください。

藤本倫子環境保全活動助成基金交付決定

藤本倫子環境保全活動助成基金は、環境教育や地域の環境保全活動などを積極的、継続的に実践している団体又は個人を対象に、その活動資金の全部又は一部を助成することを通じて、環境保全活動の輪が拡大し、

継続していくことに寄与するものです。この基金事業は、本年4月に開始したもので、本年度の募集期間は2002年5月から2003年1月までです。第1回の審査(8月)の結果、以下の団体に交付することが決まりました。

団体名	活動地域	事業内容
海老川調節池を市民と活用する実行委員会	千葉県船橋市	環境教育副教材(写真集)の作成
NPO法人グループ・ジューン・フィフス	東京都渋谷区	らくがき消しペイント(西郷橋橋台への彩画)
NPO法人大阪環境カウンセラー協会	大阪府	環境教育(実験教室、人形劇)

藤本倫子環境保全活動助成基金については、当協会のホームページでご覧いただけます。

平成14年度冬期全国星空継続観察のお知らせ

星空観察を通し、大気の状態や光害問題について関心を持ってもらう「全国星空継続観察」の冬期の観察が、2003年1月21日(火)～2月3日(月)に行われます。参加方法等については、都道府県・政令指定都市・中核

市の大気環境担当部局までお問い合わせ下さい。全国星空継続観察の詳細については、ホームページからご覧いただけます。冬の空をみんなで眺めてみませんか？
ホームページ：<http://www.env.go.jp/kids/star.html>

こども環境相談室

● 「こども達との環境保全に関するコミュニケーション研修会」開催報告

「こども環境相談室」では日本財団の助成を受けて、「こども達との環境保全に関するコミュニケーション研修会」を2002年7月に計6回開催しました。これは環境保全のイベントや環境学習などの場でこども達と触れ合う機会のある方や教員の方などを対象にしたもので、総合的な学習の時間の導入により急増しているこども達からの相談にどのように応えてゆくべきか、学校、企業、市民団体での取組を交えて具体的なコミュニケーション手法を紹介し、受講者に体験してもらいました。7月5日開催分では、会場であるお茶の水女子大学附属中学校のこども達と環境保全についてコミュニケーションを図る体験をしてもらい、こども達からは「たのしかったのでまた来て下さい。」という感想



もでるほど好評でした。この様子は日本経済新聞にも取り上げられ、多くの方々に環境を保全する行動につながるようなコミュニケーションの重要性を知ってもらう機会となりました。

環境研究会「特別講演会」開催報告

7月30日2時より、東海大学校友会館において、環境研究会「特別講演会」が開かれました。

演題は「土壌汚染対策法施行への環境省方針」（講師：環境省土壌環境課課長由田秀人氏）、「循環型白書を読む」（講師：環境省廃棄物・リサイクル対策部循環型社会推進室室長補佐染野憲治氏）。

由田氏は、まず始めに、昭和43年の農用地法の成立から土壌汚染対策のためにどのような法律が整備されてきたかを解説、本年5月に成立した「土壌汚染対策法」の概要や処理費用負担などの今後解決が迫られる問題が多く存在していることについて話されました。

「平成13年版循環型白書」執筆者の1人である染野氏には、日本経済発展の歴史と廃棄物の問題、インターネットを利用した中古品の取引や地域循環を目指すスローフードなど、新しい価値観と結びついたライフスタイルの提言、各自治体や企業の取り組みなど序章に盛り込まれた循環型社会への斬新な動き、循環型社会

のモデルとしての3つのシナリオ等についてお話いただきました。参加者55名、活発な質疑応答もあり4時半に終幕。今後の特別研究会開催等お問い合わせは、環境研究会担当へ。

環境研究会入会案内

日本環境協会の賛助会員制度で会員には下記の特典があります。

- ① 講演会・見学会への参加
- ② シンポジウム等の情報提供
- ③ 環境省公表資料の送付
- ④ 環境資料等の送付
- ⑤ 環境教育情報の照会
- ⑥ エコマーク事業情報
- ⑦ 機関紙の送付

●正会員(年会費30万円)

●資料購読会員(年会費15万円特典は③～⑦)

地球温暖化対策DVDの制作について

環境省地球温暖化防止国民生活推進室では、地球温暖化対策DVDを作成しました。本DVDは全国モニターにアンケート調査を行い、いただいたご意見をもとに今秋DVDの再編集を行い、冬にマスター版を完成させ、全国自治体関係機関等に配布の予定です。

平成15年版 環境白書表紙絵コンクール作品募集

あなたの絵が来年の環境白書の表紙や環境月間のポスターになります。「環境にやさしい社会」を描いた絵を送って下さい。あなたが望む地球の未来はどんな姿ですか？明るく楽しく、独創的な作品を待っています。部門は1.小・中学生の部 2.一般(高校生以上)の部。

詳しくは当協会虎ノ門本部 環境白書表紙絵係までお問い合わせ下さい。応募票をお送りします。

◆規定 四つ切り画用紙(54cm×38cm)を縦長で使用。画材は自由、ただし立体物は不可。作品中に文字は入れないこと。応募票に必要事項を記入し、作品の裏に貼付して送付。

◆締切 2003年1月31日(金)

◆各賞 各部門ごとに最優秀賞(環境大臣賞)1点、優秀賞(日本環境協会理事長賞)1点、佳作3点程度。賞状と記念品が贈られます。

新刊「パワーパフ ガールズと挑戦しよう! ごみゼロ大作戦—リ・スタイルで行こう!—」

本書は、リデュース・リユース・リサイクルを推進する新しいライフスタイル「リ・スタイル」の考え方を広く普及・啓発していくため作成されました。マンガによる解説や、シールを使った自己診断表により、小学校低学年から理解できる内容になっています。また、学校や家庭で取り組める課題を提供し、総合学習の教材としても、またイベント等での配布物としても、ご活用いただけます。ご注文は当協会虎ノ門本部 出版物担当までFAXでお申し込みください。

目次

- ・マンガ「パワーパフ ガールズのリ・スタイルで行こう!」
- ・循環型社会になるために
- ・自己診断表・判定
- ・ごみゼロ大作戦 学校編/家庭編/ごみダイエットに挑戦!
- ・ごみゼロ大作戦実践報告書
- ・循環キーワード



監修：環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課
循環型社会推進室

A4版フルカラー28ページ

実費頒布単価180円(税込、送料別)

「地域で実践できる地球温暖化対策の手引(仮称)」冊子の配布について

地球温暖化を防止するためには地域ぐるみでの対策が重要です。その参考となるような実践事例等を集めた冊子「地域で実践できる地球温暖化対策の手引(仮称)」を制作しました。

この冊子では地球温暖化政策の説明や現状を始め、新エネルギーの活用、IT技術による環境教育やカーシェアリングへの発展についてなど、地域ぐるみで考える地球温暖化対策を紹介しています。

ご希望の方には送料負担で配布します。なお、数に限りがありますのでご了承ください。詳細は下記へお問い合わせください。

全国地球温暖化防止活動推進センター

TEL: 03-3406-5010

FAX: 03-3406-5190

ホームページ: <http://www.jccca.org>

編集・発行/財団法人日本環境協会 <http://www.jeas.or.jp>

虎ノ門本部 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階

(協会)
(エコマーク事務局 認証課)
(エコマーク事務局 基準課、普及課、GEN総務事務局)
(子ども環境相談室)

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2階

(全国地球温暖化防止活動推進センター)
(GPN)

TEL.03-3508-2651 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3508-2653 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2662 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2658 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3406-5010 FAX.03-3406-5190

TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

